



令和5年9月13日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第23号

郷土の自然体験

～豊かな海を満喫しました～

8月28日(月)、「郷土の自然体験」を実施しました。この「郷土の自然体験」は昨年度から始めた行事であり、蒲刈B&G海洋センターの職員の指導のもと、サップ体験などによって郷土の素晴らしい自然を体験することを目的としています。

郷土の豊かな自然を体験することは、郷土の良さを再発見するとともに、郷土を愛し郷土に貢献できる態度の育成につながると考えています。

当日は、大変天気が良く、波も本当になく穏やかで、海での自然体験には絶好の条件が揃いました。

安全確認のため、バディ(二人一組をつくり、互いに相手の安全を確かめさせる方法)を組み、バディの意味や方法を説明したり、海では自分の安全は自分で守らなければならない意識を確認したりしました。

カッター1艇、メガサップ1艇、シーカヤック(1人乗り)16艇、シーカヤック(2人乗り)3艇、シングルサップ10艇を使って、全員で沖へ出ました。サップやシーカヤックの上ではバランスが取りにくく落ちそうになりながらも、指導員の皆様の「イチ!」という大きな掛け声の後、生徒たちは「オーエス!」と返して漕いでいきました。声を合わせてパドルを漕ぐことができれば、かなりのスピードで進んでいきます。そして、全員、大きな声を出して、目的地の「ゾウ岩」が見える砂浜に到着しました。

砂浜では、サップとカヤックの自由体験を行い、生徒たちは自分が乗りたいものを選んで乗りました。また、海に入って水をかけあって遊ぶ生徒たちも多く、残り少ない夏休みを満喫していました。

すべての体験後、「自分が遊んだ海をきれいにして帰る」ということから、全員で砂浜の海のゴミ(海洋ゴミ)を拾いました。あまり海洋ゴミは打ち上げられていませんでしたが、風な



どの条件によっては大量の海洋ゴミが砂浜に打ち上げられるそうです。このように郷土の誇りである豊かな海の自然を体感できたのは、指導員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。また、来年もよろしくお願いたします。



トップアスリートを目指しています

本校3年生 藤本 優希くんが8月11日（金）～13日（日）大阪市で行われた第23回全日本中学生男女ソフトボール大会に、呉 YAMATO BLACKSOX のメンバーとして出場しました。藤本くんは、3月に行われた第19回都道府県対抗全日本中学校男子ソフトボール大会にも広島県代表として出場し、決勝戦で長崎県選抜には負けましたが、見事準優勝という成績を収めることができました。今回の全国大会では、優勝を目指していましたが、優勝した長崎県のチームに準々決勝で負けてベスト8となりました。それでも、本当に優秀な成績ですし、2回戦ではホームラン、準々決勝では3塁打を打つなど活躍しました。また、8月23日（水）～25日（金）に日本体育大学で行われた呉市トップアスリート育成事業にも参加することができました。

今後は将来のトップアスリートを目指し、日本を代表する選手になってほしいと願っています。これからは怪我などすることなく、心技体をしっかり磨いてトップアスリートになってください。期待しています。

